

コミュニティ活動／地域活動

当社グループでは、地域社会の一員として地域のニーズに合わせた多様な活動を展開するとともに、行政ならびに地域住民の皆さまと手を取り合い、地域社会との共存・連携に努めています。

社会貢献活動方針

1. 日本パーカライジンググループは、国内外の各事業拠点と、それぞれの所在する地域社会との共生を図り、地域社会の持続的発展に貢献します
2. 日本パーカライジンググループは、地域社会と連携し、環境保全活動など地域に根ざした活動を行います
3. 日本パーカライジンググループは、従業員一人ひとりが地域のメンバーの一員として自ら社会活動に参画できるよう、企業風土の醸成を図ります

社会貢献活動

当社グループは、事業活動を通じた社会価値創出と地域社会との共生を重要な責任と位置づけ、国内外で社会貢献活動を推進しています。特に次世代を担う人材育成は持続可能な社会の基盤であるとの考えから、教育支援を中心とした取り組みに注力しています。各国・地域の社会課題やニーズを踏まえ、教育機関やNPO・NGOなどの現地パートナーと連携し、学習環境の整備や教育機会の拡充を継続的に実施しています。資金的支援に加え、交流機会の創出や物品提供など人的つながりも重視し、地域に根ざした支援を通じて社会の持続的発展に貢献していきます。

〔国内〕

日本パーカライジング(株)平塚第二熱処理工場は、地域社会との連携を重視した環境保全活動の一環として、2025年11月5日に馬入ふれあい公園のお花畑において「チューリップの植栽および周辺清掃活動」に参加しました。本活動には、平塚地区環境対策協議会および平塚市役所職員、八幡小学校3年生の児童が参加し、世代や立場を越えた協働のもとで実施されました。

当日は開会式の後、参加者が協力してチューリップの球根を丁寧に植え付け、その後、花畑周辺の清掃活動を行いました。児童たちとともに作業を進めることで、地域の環境美化への意識向上と交流促進にもつながる機会となりました。最後に閉会式が行われ、活動を通じて得られた達成感とともに、今後の継続的な取り組みの重要性が共有されました。

当工場は引き続き、地域の皆さまと連携しながら、自然環境

の保全と地域社会の持続的発展に貢献する活動を推進していきます。

パーカー加工(株)豊橋工場では、地域環境の維持・向上を目的として、工業団地内における「ゴミゼロ活動」を毎月継続的に実施しています。本活動は、工業団地に立地する企業が連携し、周辺環境の美化と地域全体の環境意識の向上に寄与する取り組みです。

2025年5月の活動では、梅雨入りを前に降雨時の排水機能を確保するため、排水溝周辺を中心とした清掃を重点的に実施しました。具体的には、排水溝周りに堆積した土砂やごみ、繁茂した雑草の除去を行い、排水能力の維持・向上を図りました。

今後も豊橋工場は、地域の皆さまと協力しながら、環境保全と安全な地域づくりに貢献する活動を継続していきます。



チューリップ植栽活動



児童への環境保全教育



工場周辺の清掃活動

〔海外〕

■子どもの教育支援

日本パーカライジングインディア(株)では、CSR活動の一環として、毎年、現地で支援活動を行うNPO法人「結び手」を通じ、インド・ハリアナ州グルガオン地域で活動するNGO団体「We Care Foundation」への寄付を継続的に実施しています。本取り組みは、地域の子どもたちに安定した教育機会を提供し、将来の自立と社会参加を支援することを目的としています。

具体的には、同団体が運営するラーニングセンターにおいて、教師の人件費や教育環境の整備に必要な施設関連費用への資金援助を行っています。インドの一部地域では、公教育における人的・制度的な課題により、十分な教育機会が確保されていないケースが見られます。こうした背景を踏まえ、「We Care Foundation」は独自にラーニングセンターを設立し、通信・遠隔教育を活用した修了資格の取得支援や、パソコン教育を通じた基礎的なデジタルスキルの習得に取り組んでいます。

当社は資金的支援にとどまらず、グルガオン本社への子どもたちの招待による交流機会の提供や、使用しなくなった備品類の寄付なども実施しています。今後も、現地パートナーとの連携を



NGO団体を通じた子どもの教育支援



OBECへの奨学金寄付



学生への奨学金授与

環境保全への取り組み

■緑化

2025年10月30日、タイパーカライジング(株)は、タイ・バンコク近郊のパンカチャオに位置するシーナコンクアンカーン公園において、「Ride for Tree Planting (自転車による緑化活動)」を実施しました。

本活動は、当社のカーボンニュートラル方針に基づき、環境の持続可能性の向上に貢献することを目的として企画されたものであり、移動手段として自転車を活用することで、低炭素行動の実践も併せて推進しました。植林を通じた環境保全への貢献に加え、従業員が主体的に参加することで、日常業務における環境配慮意識(エコマインド)の醸成を図っています。

当社グループは今後も、従業員参加型の環境活動を継続的に実施し、地域社会と連携しながら、脱炭素社会および環境と調和した持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■資源リサイクル

2025年3月13日、タイパーカライジング(株)では、資源の有効活用および社会貢献活動の一環として、従業員に対し前年の

通じて、地域の実情に根ざした教育支援を継続し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2025年8月15日、タイパーカライジング(株)の経営陣は、タイ教育省基礎教育委員会事務局(OBEC: Office of the Basic Education Commission)を訪問しました。本訪問では、経済的に困難な状況にある学生の就学継続を支援することを目的として、合計229名分、総額1,000,000バーツの奨学金を寄付しました。

また、2025年8月28日から29日にかけて、タイパーカライジング(株)の経営陣とOBECの代表者は、ノンカーイ県、ノンブアランブー県、ウドンターニー県の各地域を訪問し、対象となる学生一人ひとりに対して奨学金を直接授与しました。本取り組みを通じて、地域の実情を踏まえた支援を行うとともに、学生や教育関係者との対話を深めました。

本活動は、教育機会の拡充を通じた人材育成および地域社会への貢献を目的とした、当社グループのCSR活動の一環です。今後も、現地教育機関との連携を通じて、次世代を担う子どもたちの学びを支援し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

カレンダーの寄付を呼びかけました。回収されたカレンダーは、タイ盲人財団(Foundation for the Blind in Thailand)へ寄付され、視覚障がい者向け点字図書の制作に活用されます。

本取り組みは、モノの再利用を通じた資源の有効活用を推進するとともに、従業員一人ひとりが社会課題への理解を深め、地域社会への貢献を実感する機会となりました。

当社は今後も、従業員参加型の社会貢献活動を継続的に実施し、循環型社会の実現と地域との共生に貢献していきます。

点字図書制作支援に向けたカレンダー寄付

■廃棄物削減(プラスチックごみ)

日本パーカライジングインディア(株)は、資源循環および環境負荷低減を目的として、プラスチック廃棄物の削減に取り組んでいます。2025年6月に全従業員へ再利用可能なジュート袋(麻袋)を配布しました。使い捨てプラスチックの使用抑制を促進し、地域におけるプラスチック廃棄物削減に寄与しています。



プラスチック廃棄物削減活動